器械の識別情報でつながる

資産・使用・再処理・手術・患者・セットの情報を統合し、
手術器械のライフサイクル全体にわたるトレーサビリティを確保します。

手術器具
ライフサイクルデータ



資産情報	購入・登録・保有 所在・修理・交換・廃棄 資産ライフサイクル管理
使用情報	使用回数・使用頻度 手術器具セットの使用状況 期間別の稼働状況分析
再処理情報	回収・洗浄・点検 組立・滅菌 再処理履歴管理
患者情報	手術器具 ↔ 手術 ・ 処置 ↔ 患者 手術記録との連携 問題発生時の迅速な遡及追跡
手術・処置情報	手術日・手術の種類 手術室情報 使用したセット・器具
セット情報	所属セット・構成情報 セット変更履歴 セット構成の検証 不足・誤配置などの検証

個々の器械の識別情報がもたらす変化

- 手術器械管理の正確性を向上
- 繰り返し行う検証・計数作業の負担を軽減
- 器械ごとの使用状況と再処理状況を可視化
- 器械の混入・不足および管理上の誤りを低減
- データに基づく資産管理と患者安全を強化



SUJIN Co.,LTD.

E-mail syicman@hanmail.net
Phone +82-31-425-9622
FAX +82-31-425-9623
Homepage www.sujinic.co.kr

Address
#816, Heungan-daero 427beon-gil 38, Dongan-gu,
Anyang-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea

ClariTrace™ Technical
Paper Download

www.sujinic.co.kr

AIベースのデジタル
統合管理システム

病院の再使用可能な手術器械のための







ClariTrace™ Platform

個別識別・検証・ライフサイクル全体のトレーサビリティ

ClariTrace™ Vision Station
ワンショットで複数の器械を識別し、構成を検証

ClariTrace™ Vision OR
手術室専用のAIビジョンによる計数・回収確認

ClariTrace™ CSSD
個々の器械の識別、セットの完全性確認、
器械の混入検出

ClariTrace™ CCDS
貸出器械の搬入・搬出時の検証と、
全工程にわたるトレーサビリティ

ClariTrace™ RSI
手術器械・手術用品の計数、回収照合、
および患者との紐付け

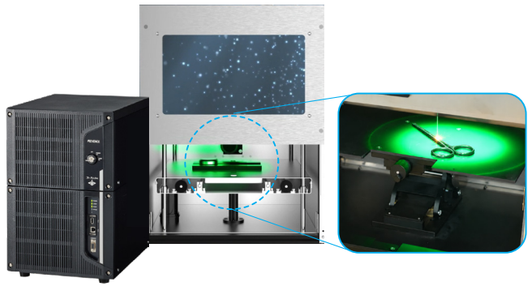
EverTrace™
器械の識別を実現する、
高耐久性の恒久的DPMマーキング

SUJIN Co.,LTD.

正しい器械。正しいセット。検証済み。

CLARITRACE™
Three Core Modules

EverTrace™ レーザーマーキング

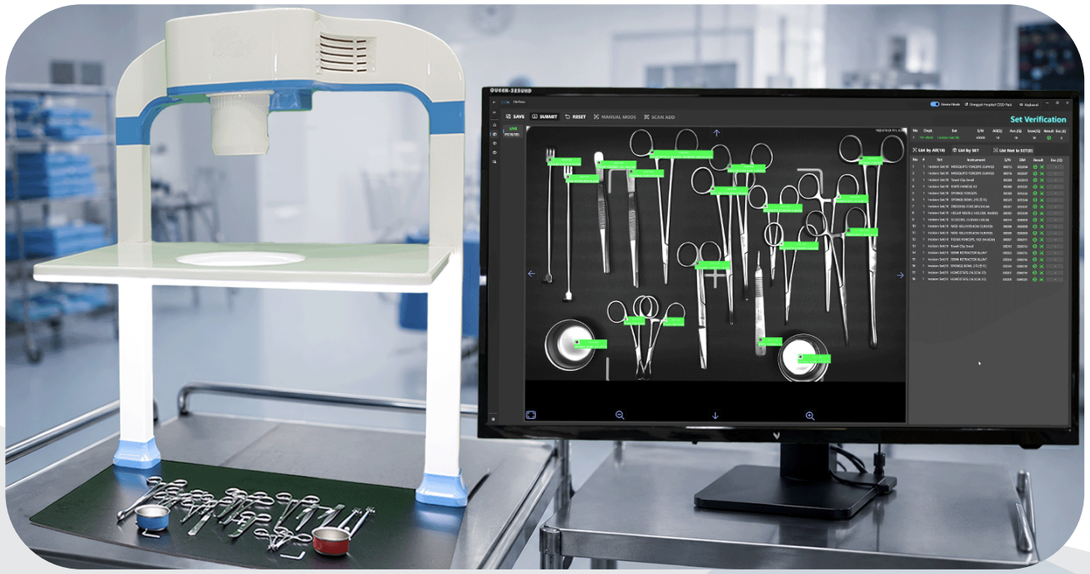


- 2 × 2 mmの極小データマトリックスコードを恒久的に刻印
- 高温・高圧で繰り返される滅菌に耐えるよう設計された、高耐久性のマーキング
- 曲面を含む、さまざまな手術器械の表面に適用可能
- 直感的な専用ユーザーインターフェースで、レーザーマーキングを簡単に実施
- 既存の手術器械に恒久的な識別情報を付与し、ライフサイクル全体のトレーサビリティを支援

ClariTrace™ AIビジョンプラットフォーム

ワンショットで識別・検証

- 最大200個の器械を約0.8秒で識別・検証
- 重なった器械も、分離や整列をせずに同時認識
- AIビジョン・DPM・OCR・精密な形状構造を組み合わせたマルチモーダル解析
- マーキング済み・未マーキングの器械が混在していても同時認識
- 器械の不足・過剰・混入・誤配置・未登録を自動検証
- 直感的な結果表示で、繰り返し行う検証作業の負担を軽減
- 個々の器械の識別情報に基づくデジタル資産・履歴管理
- 器械の表面や構造における潜在的な異常の兆候を検出

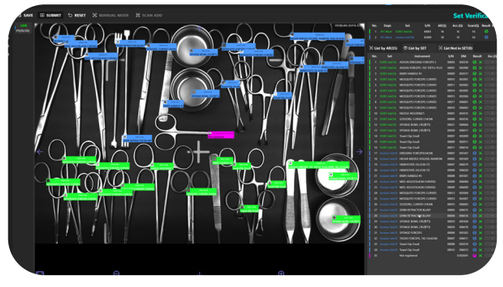


手術器械・セットの自動検証 (CSSD)

個々の器械の識別とセット構成の自動検証により作業負担を軽減し資産を管理

- 各器械の識別情報と所属セットを確認
- 器械の不足・過剰・混入・誤配置・未登録を自動検証
- 検証時に不一致が見つかった器械を明確に強調表示
- 各器械の手術での使用回数と再処理回数、およびその履歴を追跡

正確なセット検証から、個々の器械の使用・資産管理まで



貸出手術器械の統合管理 (CCDS)

受入から返却までの全工程を検証・追跡し貸出器械の混入を防止

- 搬入された貸出器械を、付属の器械リストと照合
- 病院所有の器械と貸出器械の混入を検出
- 貸出セットの構成・使用・回収の記録を管理
- 再処理・搬出の検証と全工程の追跡

貸出器械の混入・不足・誤返却のリスクを低減する統合管理



手術室での自動計数・照合 (RSI)

手術前後の自動計数・検証・照合により、患者安全を向上

- 手術器械と手術用品を自動で計数・検証
- 重なった器械を個別に認識・分類
- 手術前後の総数と構成を比較
- 各器械の使用履歴を、該当する手術と患者に紐付け
- 使用済み・未使用の器械を区別し、個別の使用履歴を管理

繰り返し行う計数作業の負担を軽減し、手術前後の正確な照合を実現

